

電波時計

Radio controlled wall clock

ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

製品仕様

精度	平均月差±30秒 (常温、電波時計による時刻調整を行わなかった場合)
使用温度範囲	0℃～+40℃(結露しないこと)
受信電波	標準電波(JJY) 周波数: 40kHz/60kHz(自動選局)
自動受信回数	最多6回/1日(最少1回/1日)
使用電池	単3形アルカリ乾電池1本
電池寿命	約12か月(受信修正機能の稼動状況による)
夜間秒針停止機能付き	午後10時から午前6時まで秒針が停止します
付属品	単3形アルカリ乾電池1本、木ネジ1本、ユーザーズガイド(保証書含む)

- ※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。
 ※ アナログ時計の特性上、若干の指針(針の表示)誤差が生じる場合があります。
 ※ 電波時計の電波は日本全国をカバーしておりますが、携帯電話やラジオ同様に電波が入りにくい場所、電波が入らない場所があります。
 ※ 電波受信ができない場所では通常のクォーツ時計として作動しますが、使用中に電波を受信すると自動的に時刻調整します。

安全上のご注意

- お使いになる前に必ずお読みください。
- ここに示した内容は、商品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい事項を次のように示しています。
- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によっておこる危害および損害の度合いを次のように説明しています。

■危険、警告、注意について

	危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示しています。
	警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
	注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

	禁止	してはいけない「禁止」内容です。
	指示	必ず実行していただきたい「強制」内容です。

危険

-  電池からもれた液体が目に入ったときは、こすらず、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。失明や目に障害を負う可能性があります。

警告

-  電池の⊕⊖極を正しく入れて使用してください。発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因となります。
-  電池や木ネジはお子様の手の届かないところに保管してください。口に入れたり誤って飲み込むと大変危険です。万が一お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
-  お手入れ前には、必ず電池を抜いてください。感電や故障の原因となります。
-  破損した場合、破損が疑われる場合は、すぐに電池を抜いてください。そのまま使用続けると、火災、感電、けがの原因となります。
-  液漏れした電池から出た液体が皮膚や衣服に付着したときは、すぐに洗い流してください。そのまま放置すると、皮膚に障害が残ることがあります。
-  使い切った電池はすぐに取り出してください。そのまま放置すると、発熱、破裂、液漏れが起こり、本体を破損させる原因となります。
-  本体の分解や修理・改造をしないでください。けがや故障の原因となります。
-  お子様だけで操作をさせないでください。また、お子様の手の届かない場所に保管してください。誤使用により思わぬ事故を起こす原因となります。
-  屋外では使用しないでください。屋内専用です。
-  本体を高いところから落としたり、故意に踏んだり、たたいたり、強い力を加えないでください。故障、火災、感電、けが、破損の原因となります。
-  濡れた手での操作、電池の取り扱いはしないでください。感電および故障の原因となります。
-  浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。感電および故障の原因となります。
-  本体・本体開口部にピンや針金などの先のとがった金属物、鋭利な物を入れたり、刺したりしないでください。感電ややけど、火災や故障の原因となります。
-  振動のあるところ、不安定なところには設置しないでください。落下や転倒によってけがや破損・故障の原因となります。
-  お手入れのときは、シンナー・ベンジン・アルコール・研磨剤などを使用しないでください。変色、変形、感電、故障、傷つきの原因となります。

注意

-  電波を受信する時計のため、以下のようなところで使用すると、電波を受信できず、正確な時刻表示ができません。
 - ・ 高圧高架線など電線の近く
 - ・ 金属製の雨戸・ブラインドなどの近く
 - ・ 自動車・電車・飛行機などの乗り物の中
 - ・ 地下室、厚い壁のあるビルの内部など
 - ・ テレビやパソコン・電子レンジなどの高周波を扱う電化製品・OA機器の近く
 - ・ 電波を遮断する山・鉄道・道路などの高架構造物・大規模建築物などの近く
 - ・ 交通量の多い幹線道路・空港・工場などの、電波障害がおきる場所
-  長期間使用しないときは、本体から電池を取りはずしてください。液漏れなどにより、本体の破損や、けがの原因となります。
-  本体は0℃以下の環境では使用しないでください。電池の性能が極端に落ち、正確な動作を行うことができません。(また-10℃を下回ると、プラスチックや電池自体の劣化が起きる原因となります)
-  本体は直射日光が当たったり、高温となる場所に設置しないでください。色あせ、熱による変形、故障の原因となります。
-  大きなスピーカーなどの強力な磁力を発するものの近くで使用しないでください。磁力によって正しい計時が行われなくなる原因となります。
-  調理場や工場など油分が飛び交うところでは使用しないでください。内部に油分が入ると動作を妨げ、正しい計時が行われなくなる原因となります。
-  ちりやホコリなどが多いところでは使用しないでください。内部に異物が入ると動作を妨げ、正しい計時が行われなくなる原因となります。
-  ビニール系の壁や敷物などの上には設置しないでください。本体自体、壁や敷物を汚したり、傷めることがあります。
-  エアコンなど空調機器の風が直接当たるところには設置しないでください。温度変化により曇って文字盤が見えなくなったり、結露が発生して感電、故障の原因となります。
-  塩害や腐食性ガスの発生するところには設置しないでください。劣化により、故障の原因となります。

■発売元

株式会社ラドンナ

〒135-0031 東京都江東区佐賀1-5-9 永代MKビル
http://ladonna-co.net/

2018-①

TF22

電波時計の使いかた

■電波時計とは

時刻の情報を持った電波を受信することができたときに、時刻を自動で設定・修正する機能を持った時計です。本製品は、日本の標準電波 (JJY) を受信し、日本標準時 (JST) を設定・表示させることができます。標準電波 (JJY) は、国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) によって運用されており、福島県のおおたかや山標準電波送信所 (福島40KHz) と福岡県・佐賀県の県境にあるがね山標準電波送信所 (九州60KHz) の2カ所から送信されています。

- 標準電波は24時間継続して送信されています (ただし一時的に保守作業で送信を停止することがあります)。
- 標準電波は日本全国をカバーしており、送信所から1000km離れていても受信することは可能です。本製品の向き (前面もしくは背面) を送信所方向に向けることで、より受信しやすくなります。なお、電波の障害により、受信できない、あるいは受信が難しいことがあります (天候・気象条件、地形、太陽活動、時間帯、設置場所など)。
- 天候や気象条件によって電波障害が起きて、受信機能が制限されて使用できないときは、受信条件のよい場所や深夜の時間帯など受信条件のよい時間に受信させることができれば、通常の機能に戻って自動修正機能が働くようになります。

■使用場所について

本製品は電波を受信する時計のため、以下のようなところで使用すると、電波を受信できず、正確な時刻表示ができません。このような場所を避けて使用してください。

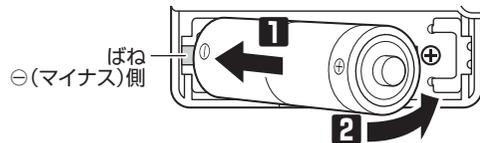
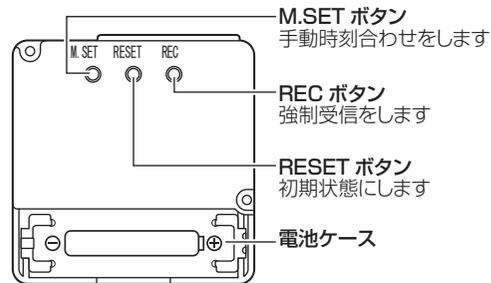
- 高圧高架線など電線の近く
- 金属製の雨戸・ブラインドなどの近く
- 自動車・電車・飛行機などの乗り物の中
- 地下室、厚い壁のあるビルの内部など
- テレビやパソコン・電子レンジなどの高周波を扱う電化製品・OA機器の近く
- 交通量の多い幹線道路・空港・工場などの、電波障害がおきる近く
- 電波を遮断する山・鉄道・道路などの高架構造物・大規模建築物などの近く

■夜間秒針停止機能について

本製品は、午後10時から午前6時までの間、秒針のみを停止させる機能付きです。これにより、夜間の秒針音をストップします。この間、秒針のみ12時の位置で停止します。

※夜間秒針停止中でも自動受信が始まると秒針が動くことがあります。時計、分針も普段と異なる動きをする場合がありますが、故障ではありません。

※午前10時から午後6時に秒針が止まる場合は、手動での時刻設定時に午前と午後を間違えて設定しています。現在時刻を設定しなおしてください。



乾電池は① ⊖ を先に入れ、② ⊕ をあとに入れてください

③電波受信待機状態になります。受信結果が出るまで4～12分程度お待ちください。

乾電池を入れると、針が高速で動きだし、正午 (12時) の位置で針がすべて停止し、電波受信状態になります。

- ※受信待機中は針が停止したままとなりますが故障ではありません。本体に触れずそのまま待機してください。
- ※受信環境により受信までの時間は異なります。

④受信結果を確認してください。

■受信に成功すると
針が高速で動き出し正確な現在時刻を表示します。
→そのまま壁にかけて使用してください。

■受信に失敗すると
時刻修正はされず、針は正午 (12時) から時刻を刻み始めます。
→以下の対応策をお試しください。

①翌朝までそのまましておく

- 本製品は受信に失敗しても1日あたり最多6回の自動受信を実施します。
- 夜間は電波状態がよい (AMラジオと同じ)、まる1日そのままにしておいてください (受信できる可能性があります)。
- 通常受信しないところでも、夜間に電波状態がよくなったときに受信することもあります。

※外観が本書の図と異なる場合がありますが、基本的な操作方法は同じです。アイコンなどをもとに判断してください。

①付属または市販の単3形アルカリ乾電池1本を用意します。

- 機種により付属していないことがあります。
- 付属している乾電池は動作テスト用ですので、市販の同等の乾電池よりも寿命が短いことがあります。
- 市販の乾電池は、新品未使用のものを用意してください。
- アルカリ乾電池を使用してください。充電電池は電圧の違いなどから使用することができません。また電圧の違う乾電池も使用することができません。

②電池ケースに留意して乾電池を取り付けます。

- 電池ケースにふたが取り付けられている場合はふたをはずしてください (乾電池を取り付けたあと、ふたを元のように取り付けてください)。
- 電池ケースにリボンが付いている場合、乾電池を入れる前にリボンを敷いてください。乾電池を取り出すときに、リボンの端を引き上げることで取り出しやすくなります。
- 電池ケースの、ばねが付いている側を ⊖ (マイナス) に合わせて乾電池を取り付けます。

※必ず ⊖ (マイナス) 側を先に取り付けます。⊕ (プラス) 側を先に取り付けると、うまく乾電池を取り付けることができません。

壁掛けのしかた

壁の材質によって壁掛けのしかたが変わります。



※外観が図と異なる場合がありますが、基本的な壁掛けのしかたは同じです。

■壁が木材のとき

- 付属の木ネジを使用してください。 (機種によっては付属していないことがあります)
- 木ネジの長さよりも厚いところに取り付けてください。
- 叩いて音を聴き、中が空洞ではないことを確認してください。
- 壁に対して垂直にネジを取り付けてください。ネジの頭と壁との間が9mm以下になるようにしてください①。
- ネジの頭を壁掛け穴に入れ、ネジの頭で引っ掛かるようにしてください②。

■壁が木材以外のとき

- 付属の木ネジは使用しないでください。
- 壁の材質に合った3kgまで耐えられる市販の掛具 (吊金具) などを使用してください。
- 両面テープ式や吸盤式の掛具 (吊金具) は使用しないでください。

注意

- 万一落下したとき、人や物に被害がおよぶ場所には設置しないでください。
- 壁が木材以外のときなど、取り付けについてわからないときは、必ず専門業者に相談してください。落下するととても危険です。

お手入れのしかた

注意

- お手入れをするときは必ず乾電池を取りはずしてください。
- お手入れのときは、シンナー・ベンジン・アルコール・研磨剤などを使用しないでください。変色、変形、感電、故障、傷つきの原因となります。

■通常のお手入れのしかた

- 表面についた汚れなどは、固くしぼった布などで軽くふきとってください。
- 機種によって材質が異なりますので、材質に合ったお手入れをしてください。
- 時計を壁に掛けた場合、時計および壁面が汚れる可能性がありますので、定期的に汚れを落としてください。

■電池を交換するときは

電池を交換するときは、電池をはずして数分経ってから新しい電池を取り付けてください。

「故障かな？」と思ったら

「故障かな？」と思ったら、修理を依頼される前に、以下の点をご確認ください。

症状	原因	対処
針が動かない	電池ボックスの接点部分は汚れていませんか?	接点部分をきれいにしてください
	電池は消耗していませんか?	新しい電池を入れてください
秒針が動かない	静電気などにより誤作動していませんか?	一度電池を抜き差しして、設定しなおしてください
	夜間秒針停止中ではありませんか?	午後10時～午前6時に秒針が止まります ※午前10時から午後6時までに秒針が止まる場合は手動での時刻設定時に午前と午後を間違えて設定しています。◎手動で時刻合わせをする」を参考に時刻を設定しなおしてください
時刻が合っていない	電波受信は成功していますか? ([RECボタン] を押して、受信結果を確認してください)	受信できていないときは「■受信に失敗すると」を参考に受信させてください (受信が難しいときには、手動で時刻を合わせて使用してください)
針の動きがおかしい	強制受信中、または時刻調整中ではありませんか?	受信終了後、元に戻ります

⑧設置場所を変更して強制受信する

- 電波が届きやすい窓に近いところに移動してください。
- 「■電波時計とは」「■使用場所について」を参照してください。
- 通常運転中に [RECボタン] を3秒以上長押しして、強制受信をしてください。
- ※③の電波受信待機状態になります。針が12時の位置で停止してから受信結果が出るまで4～12分程度お待ちください。
- 受信に成功すると正確な現在時刻を表示します。
- 受信に失敗すると、通常運転を開始しますが、現在時刻ではありません。

⑨手動で時刻合わせをする

①通常運転中に [M.SET ボタン] を3秒以上長押ししてください。

※電波受信待機中 (針が停止している、あるいは針が高速で回転しているとき) には操作はできません。誤作動の原因となります。秒針が高速で動きだしたら [M.SET ボタン] を放してください。12時で秒針が停止し、手動で時刻が設定できる状態になります。

※夜間秒針停止中 (午後10時から午前6時まで) は秒針は動作しませんが、手動時刻設定ができる状態になります。

②秒針が停止中に再度、[M.SET ボタン] を押して、現在時刻を設定してください。

- [M.SET ボタン] を1回押すと分針が1分進みます。
- [M.SET ボタン] を押し続けると、押し続けただけ分針が高速で進み、放すと停止します。
- 初回の電波受信時、もしくは [RESETボタン] で初期状態に戻したときの「12時」は「正午」です。設定する時刻が午前の場合は、[M.SETボタン] を1周 (12時間分) 以上押し続けてから設定する必要があります。

③現在時刻の設定が終わったら、時報などに合わせて [REC ボタン] を押してください。

[RECボタン] を押すと、秒針が動き出します。また、30秒以上何も操作をしないと、通常運転が始まります。※この場合も毎日自動受信が行われます。電波受信に成功次第、自動的に正確な時刻を表示します。

■リセット操作について

- 操作中に不明な点が出てきたときは [RESET ボタン] を押してください。設定内容が初期状態に戻ります。
- [RESET ボタン] はペン先のような先の細い棒で押してください。
- 針が高速で動き出し正午 (12時) の位置で針が停止し、再度4～12分間の電波受信待機状態になります。